

(別添3)

【日の出町】

校務DX計画

1. 現状

学校における校務の負担軽減を図り、教職員の長時間労働を削減することで、児童・生徒と直接関わる時間や授業準備等、授業の質を向上させるための時間を確保し、教職員の働き方改革を進めるとともに、学校全体の指導力の向上につなげるため、ICT 支援員を各校月 2 回程度配置し、校務DXを積極的に推進している。

2. 校務DX化の推進

(1) 校務支援システムの活用

校務支援システムを活用し、各種帳票の作成及び健康記録管理等の効率化を図り、教職員の紙中心の校務の電子化、データの一元管理化することで、公務の効率化による事務作業を削減し、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保することで、細部に行き届いた学習指導や生徒指導等の教育活動の充実を図る。

(2) クラウド環境の活用

教職員の研修及び会議はクラウドサービスの活用を基本とし、タブレット、大型掲示装置等を活用し、ペーパーレス化や効率的な業務推進を図るほか、FAX・押印の原則廃止等も検討する。

3. 次世代校務DX環境の整備について

当町に適した次世代の校務支援システム導入に向け、各校の担当者からなる検討会を立ち上げ導入に向けた検討を進めていく。また、東京都の共同調達に参加し、導入に向けた必要な環境整備を関係機関と連携し、調査・研究を進める。